

令和7年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進実施計画書

尾道市立浦崎中学校 校長 高橋 敦志

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

未来を生きる力を育む

スクールミッション

地域力を生かし『オール浦崎』で取り組む 主体的に学ぶ力の育成

目指す児童生徒像

- 『主体性』自ら問いをもち、学び方を選び、人生を拓いていく生徒
- 『協働性』多様な他者と共に学び、認め合い、共により良い社会をつくる生徒
- 『創造性』変化を受け入れ、課題を見つけ、自分なりの解決や価値を生み出す生徒

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

自立した学び手を育む教育活動の創造・充実
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

(2) 研究主題の設定理由

子どもたち一人ひとりが、自分のしあわせに、そして希望をもって歩んでいけるよう「未来を生きる力」を育む教育を目指す。「ウェルビーイング」の視点を中心におき、心と体の健康、良好な人間関係、自分の価値を感じられること、そして社会とつながりながら成長していくことができるようにすることが求められている。

本校では、昨年度、個別最適な学びを育成する手段として、単元内自由進度学習に取り組んできた。しかし、昨年度実施した全国学力調査や市の学力調査の結果から、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習に調整をしながら学習に取り組む態度等を育成するには至っていないことが分かった。

このような課題の改善を図るために、学区内の認定こども園や小学校との連携により、自分に最適な学びを自分で計画・実行できる力を育む。そして、最終的に生涯を通じて「学び続ける力」の育成を目指す。

(3) 研究のねらい

- ① 変化の激しく先行きが不透明な時代、人生 100 年時代を生きる生徒が、生涯にわたって学び続けることができるよう、自分に最適な学びを自ら計画・実行できる力の育成を目指す。
- ② 生徒たちが自分らしく、そして幸せに、充実した人生を歩むことができるように、他者と協力しながら課題を解決する力の育成を目指す。

(4) 研究仮説

- ① 自立した学び手の育成を目指し、生徒一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度などに応じて、教材の柔軟な提供や個別の伴走・支援をすることで、主体的に学ぶ力が向上するであろう。
- ② 総合的な学習の時間において、「ローカル」郷土「浦崎」の生活と自然から、「グローバル」国際協働学習に取り組むことで、他者と協働する力が向上するであろう。

(5) 研究内容（研究の方向）

- ① 自立した学び手の育成（個別最適な学びの充実）
 - ・ 多様な学びの選択肢のある授業を実施し、「自立した学び手」を育成することを目指す。
 - ・ 「マイプラン学習」（単元内自由進度学習）を行い、自ら調整を図りながら学びを進めることのできる力の育成を目指す。
 - ・ 「まなびチャレンジ」を行い、自分なりの計画と方法で学習を進め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
 - ・ 手帳を使用し、生活や学習における目標・計画を設計し、習慣的に見直しを図る。
- ② 総合的な学習の時間における、他者と協働する力の向上（協働的な学びの充実）
 - ・ 総合的な学習の時間「学びクエスト」では、「ローカル」郷土の生活と自然から「グローバル」国際協働学習などにより、社会の当事者として参画する学びの充実を図る。
 - ・ 「まなびスペシャル」では、各界の著名な講師との出会いで社会を意識し、自らの生き方を見つめる学びの充実を図る。
 - ・ 「異文化間協働学習」では、多様な国々の人々との交流を通して、国境を越えて理解しあい、協力して持続可能な社会を実現する教育を推進する。
- ③ 生徒による主体的な活動の充実
生徒会行事や浦崎大運動会などは、生徒が主体となって行事の成功をめざす。そして、多くの生徒とともに感動を味わいながら企画・運営を実践的に学ばせる。

(6) 検証の指標

- ① — 1 全国学力状況調査アンケート項目 (20)
「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。」
- ① — 2 各種学力調査の正答率が全国平均を超えた生徒の割合
- ② — 1 全国学力状況調査アンケート項目 (33)
「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」
- ② — 2 全国学力状況調査アンケート項目 (37)
「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。」

(7) 到達目標

- ① — 1 肯定的な回答の割合 目標値：80% (R6 全国：78.6%)
- ① — 2 目標値：50% (R6 浦崎中：28.4%)
- ② — 1 肯定的な回答の割合 目標値：80% (R6 全国：86.1%)
- ② — 2 肯定的な回答の割合 目標値：80% (R6 全国：92.3%)

4 指導・助言者

氏 名	所属・職名等	備 考
佐野 亮子	東京芸術大学・講師	
山岸 幸正	福山大学生命工学部海洋生物化学科・教授	
林原 慎	福山市立大学教育学部児童教育学科・教授	
	尾道市教育委員会指導主事等	